

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 タカセ株式会社

コード番号 9087 URL <http://www.takase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 島津 和人

TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,354	△9.5	109	36.9	107	29.3	61	—
24年3月期第2四半期	4,811	△1.8	79	△55.9	82	△51.8	△634	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 40百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △646百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	6.07	—
24年3月期第2四半期	△62.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	9,606	6,822	71.0	673.64
24年3月期	9,974	6,890	69.1	679.57

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 6,822百万円 24年3月期 6,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,000	△8.0	265	△19.9	260	△19.3	150	—	14.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	10,545,133 株	24年3月期	10,545,133 株
25年3月期2Q	417,585 株	24年3月期	405,485 株
25年3月期2Q	10,137,462 株	24年3月期2Q	10,185,753 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 一般概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金の効果等により緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、欧州債務問題の再燃、中国経済の減速懸念、円高の長期化のほか、電力供給問題など、依然として、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの属する物流業界は、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による料金低下という厳しい環境の中、物流業務にかかる高度な業務品質の維持・向上を迫られております。

こうした状況の中で、当社グループは「グループ経営の強化」を重要課題に掲げ、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において競争力を高め、収益力向上を果たすため、営業力の強化と業務品質の維持・向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は、この5月以降、主要顧客2社との取扱業務が終了および一部終了したこともあり、前年同期間と比較して9.5%減の43億54百万円の計上となりました。また、利益面におきましては、前第2四半期連結累計期間では、東日本大震災による復旧費用の発生がありましたが、当第2四半期連結累計期間では、倉庫保管スペースの効率化や適正な作業人員投入による作業効率の向上に取組んだほか、さまざまな経費削減に努めたことにより営業原価率の改善が図れたこともあり、営業利益は前年同期間と比較して36.9%増の1億9百万円となりました。また、経常利益は、営業外損失に社債発行費13百万円を計上したものの、前年同期間と比較して29.3%増の1億7百万円となりました。さらに、四半期純利益は、前第2四半期連結累計期間では、特別損失項目において減損損失6億73百万円の計上を余議なくされたことから6億34百万円の四半期純損失となりましたが、当第2四半期連結累計期間では、61百万円の計上となりました。

② 報告セグメントの概況

A. 総合物流事業におきましては、この5月以降、主要顧客2社との取扱業務が終了および一部終了したことに加え、主要顧客1社との契約内容が変更され、連結子会社であるタカセ物流株式会社との直接取引となったことにより、営業収益は前年同期間と比較し11.6%減の41億95百万円となりました。また、営業総利益は、前第2四半期連結累計期間では、東日本大震災による復旧費用の発生がありましたが、当第2四半期連結累計期間では、取扱量に見合った倉庫保管スペースの効率化や適正な作業人員投入などの徹底したコスト管理による作業効率の向上に取組んだことにより、前年同期間と比較して10.4%増の5億69百万円となりました。

B. 運送事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する運送分野を担っており、国内顧客の取扱量が減少したことから、営業収益は前年同期間と比較して19.6%減の5億15百万円となりました。また、営業総利益は、不採算業務の効率化などのコスト改善を推進したものの、営業収益の減少による営業総利益の減少を補えなかったことから、10百万円（前年同期間は16百万円の営業総利益）の営業総損失を計上することとなりました。

C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っており、主要顧客1社がタカセ株式会社からタカセ物流株式会社との直接取引となったことにより、営業収益は前年同期間と比較して1.4%増の6億78百万円となりました。また、営業総利益は、取扱量が増加したことのほか、業務量に応じた人員投入と作業効率向上に努めたことから、前年同期間と比較して35.3%増の62百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

A. 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億68百万円(△3.7%)減少し、96億6百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が94百万円減少したほか、受取手形及び売掛金が2億68百万円減少したことによるものであります。

B. 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ3億円(△9.7%)減少し、27億83百万円となりました。

この主な要因は、社債の発行により社債が5億円増加したものの、社債の償還により1年内償還予定の社債が5億10百万円減少したほか、支払手形及び営業未払金が1億78百万円、その他の流動負債が77百万円減少したことによるものであります。

C. 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円(△1.0%)減少し、68億22百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が四半期純利益による増加61百万円があるものの、前期剰余金処分に伴う期末配当金支払による減少1億6百万円があったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが2億2百万円の増加(前年同期間対比34百万円の収入減)、投資活動によるキャッシュ・フローが1億43百万円の減少(前年同期間対比19百万円の支出増)、財務活動によるキャッシュ・フローが1億52百万円の減少(前年同期間対比1百万円の支出減)となり、現金及び現金同等物に係る換算差額を調整し、当第2四半期連結会計期間末には、29億68百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、前連結会計年度末より88百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得された資金は、2億2百万円(前年同期間は2億36百万円の獲得)となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の資金増1億5百万円、減価償却費の資金増1億44百万円のほか、売上債権の増減額の資金増2億68百万円があった一方で、仕入債務の増減額の資金減1億78百万円や法人税等の支払額の資金減87百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出された資金は、1億43百万円(前年同期間は1億23百万円の支出)となりました。

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億41百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出された資金は、1億52百万円(前年同期間は1億53百万円の支出)となりました。

この主な要因は、長・短期借入金の収入と支出の差引きで20百万円の資金減や社債の発行と償還による収入と支出の差引きで10百万円の資金減があったほか、配当金の支払による支出1億5百万円があったことによるものであります。

なお、自己株式の取得による支出は、2百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正にともない、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法にもとづく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,066,146	2,971,746
受取手形及び売掛金	1,258,629	990,476
原材料及び貯蔵品	12,010	11,476
前払費用	40,134	45,473
繰延税金資産	53,577	52,997
その他	127,778	129,712
貸倒引当金	△895	△711
流動資産合計	4,557,381	4,201,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,986,390	8,139,516
減価償却累計額	△5,695,887	△5,818,845
減損損失累計額	△52,617	△52,617
建物及び構築物(純額)	2,237,885	2,268,053
機械装置及び運搬具	2,142,321	2,062,750
減価償却累計額	△2,019,073	△1,976,570
機械装置及び運搬具(純額)	123,248	86,179
土地	1,574,272	1,574,272
その他	350,729	370,193
減価償却累計額	△301,080	△317,206
その他(純額)	49,648	52,987
有形固定資産合計	3,985,055	3,981,492
無形固定資産		
借地権	449,043	449,043
その他	83,808	76,274
無形固定資産合計	532,852	525,317
投資その他の資産		
投資有価証券	458,793	419,239
繰延税金資産	188,508	216,740
その他	264,479	273,622
貸倒引当金	△12,226	△11,434
投資その他の資産合計	899,554	898,167
固定資産合計	5,417,461	5,404,977
資産合計	9,974,842	9,606,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	552,515	374,050
1年内償還予定の社債	520,000	10,000
短期借入金	590,000	590,000
未払費用	146,313	153,499
未払法人税等	97,441	65,786
賞与引当金	81,549	86,912
役員賞与引当金	21,000	9,425
その他	181,537	104,420
流動負債合計	2,190,356	1,394,093
固定負債		
社債	—	500,000
長期借入金	240,000	220,000
退職給付引当金	573,869	585,800
役員退職慰労引当金	74,712	83,962
その他	5,257	—
固定負債合計	893,839	1,389,763
負債合計	3,084,196	2,783,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	2,690,476	2,645,501
自己株式	△112,020	△114,588
株主資本合計	6,882,304	6,834,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,116	26,643
為替換算調整勘定	△43,774	△39,114
その他の包括利益累計額合計	8,341	△12,470
純資産合計	6,890,646	6,822,291
負債純資産合計	9,974,842	9,606,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	4,811,761	4,354,944
営業原価	4,236,810	3,759,835
営業総利益	574,951	595,109
販売費及び一般管理費	495,087	485,783
営業利益	79,864	109,326
営業外収益		
受取利息	446	451
受取配当金	10,679	17,855
受取賃貸料	2,128	2,315
債務勘定整理益	6,129	—
その他	3,600	6,582
営業外収益合計	22,984	27,206
営業外費用		
支払利息	12,960	12,255
社債発行費	—	13,776
支払補償費	3,009	2,362
その他	4,079	1,100
営業外費用合計	20,049	29,495
経常利益	82,799	107,036
特別利益		
固定資産売却益	161	6,142
特別利益合計	161	6,142
特別損失		
固定資産除売却損	7,228	7,476
減損損失	673,430	—
特別損失合計	680,658	7,476
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△597,696	105,702
法人税、住民税及び事業税	41,065	57,782
法人税等調整額	△4,026	△13,571
法人税等合計	37,038	44,211
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△634,735	61,491
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△634,735	61,491

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△634,735	61,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,643	△25,473
為替換算調整勘定	577	4,660
その他の包括利益合計	△12,066	△20,812
四半期包括利益	△646,802	40,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△646,802	40,679
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△597,696	105,702
減価償却費	152,016	144,413
減損損失	673,430	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△460	△976
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,449	5,363
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,500	△11,575
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,016	11,930
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,425	9,250
受取利息及び受取配当金	△11,126	△18,307
支払利息	12,960	12,255
固定資産除売却損益(△は益)	7,066	1,333
売上債権の増減額(△は増加)	61,399	268,153
たな卸資産の増減額(△は増加)	29	534
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,932	△178,465
未払消費税等の増減額(△は減少)	25,974	△47,906
その他	△6,698	△18,770
小計	300,352	282,935
利息及び配当金の受取額	11,126	18,307
利息の支払額	△12,898	△11,142
法人税等の支払額	△62,062	△87,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	236,516	202,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,000	△6,000
定期預金の払戻による収入	12,000	12,000
有形固定資産の取得による支出	△101,725	△141,845
有形固定資産の売却による収入	518	9,351
投資有価証券の取得による支出	△19,824	—
貸付金の回収による収入	300	—
その他の支出	△8,723	△16,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,454	△143,056

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	660,000	720,000
短期借入金の返済による支出	△667,721	△695,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△25,000	△45,000
社債の発行による収入	—	500,000
社債の償還による支出	△210,000	△510,000
自己株式の取得による支出	△4,129	△2,568
配当金の支払額	△106,524	△105,910
その他の支出	—	△13,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,374	△152,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	577	4,660
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△39,735	△88,400
現金及び現金同等物の期首残高	2,901,973	3,057,146
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	41,522	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,903,760	2,968,746

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,719,640	49,147	23,635	4,792,423	19,338	4,811,761
セグメント間の内部営業収益又は振替高	28,062	592,535	645,225	1,265,824	68,006	1,333,830
計	4,747,703	641,683	668,860	6,058,247	87,344	6,145,592
セグメント利益	515,921	16,352	45,999	578,274	10,801	589,075

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	4,811,761
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△1,333,830	—
計	△1,333,830	4,811,761
セグメント利益	△14,124	574,951

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△14,124千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「総合物流事業」セグメントにおいて、倉庫設備の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において673,430千円であります。

2. 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,196,303	34,604	106,513	4,337,421	17,523	4,354,944
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△901	481,351	571,608	1,052,058	71,446	1,123,504
計	4,195,401	515,955	678,121	5,389,479	88,969	5,478,449
セグメント利益又は損失(△)	569,471	△10,012	62,259	621,718	8,675	630,393

	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書 計上額(注)3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	4,354,944
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△1,123,504	—
計	△1,123,504	4,354,944
セグメント利益又は損失(△)	△35,284	595,109

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△35,284千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。